

UFF の取り組みが、中日新聞に掲載されました。

(令和4年10月15日(土) 朝刊)

トイレ外壁映えアートに

南知多町豊浜にある「貝がら公園」内のトイレの見栄えを良くするため、内海高校の生徒が十四日、ペンキで外壁に海の生き物などを描いた。(三宅駿平)

内海高生徒が絵 南知多の公園

絵を描いたのは、ボランティアに取り組み部活動「UFF」の部員七人。部の前身であるボランティア同好会が発足した昨年、学校側が公園を管理する「貝がら公園を守る会」に協力を申し出て、トイレの外壁に絵を描く計画を立てた。

トイレはコンクリート製で、築五十年以上。「まるでお化け屋敷」と思われるような近寄りたくない外観だったため、絵を描くことによって気軽にトイレを利用してもらえるようになれば

との思いがある。

生徒たちは、守る会が用意した色とりどりの水性ペンキを使い、筆やはけでタコやチンアナゴ、クリオネをかかわいらしく描いた。引率した教員も、トイレ内の便器などを丁寧に清掃した。

デザインを担当した二年の森継未さん(み)は「学校近くの内海の高をイメージした。部員それぞれの個性が出て、良い仕上がりになったと思う」と笑顔を見せていた。



トイレの外壁に絵を描いた内海高の生徒ら。南知多町豊浜の貝がら公園で